

第48回国立大学図書館協議会総会の報告

平成13年6月27日、28日の両日、北海道大学学術交流会館において標記総会が開催された。初日の全体会議では協議会の中に置かれた各委員会の前年度活動等の報告があり、今年度事業計画や文部科学大臣等への要望書等が協議され、了承された。

この結果、今年度の要望書は「大学図書館機能の高度情報化に向けて」というテーマの下に、学術研究デジタルコンテンツの整備、資料共同利用センター(仮称)の整備、学術図書総合目録データベースの整備、図書館業務合理化経費の増額、学生用図書購入費の増額、等が盛り込まれた。

また、本学は同協議会の副会長館に選ばれたほか、今年度から新しく発足した「図書館高度情報化特別委員会」の委員長館としての任に当たることとなった。

続いて、第1・第2分科会が合同で行われ、大学の管理運営体制における館長の位置づけと役割、電子ジャーナルの導入、学内情報関連施設間における連携強化、間接経費と図書館予算の在り方について活発な意見交換が行われた。

二日目は若手館員による事例報告や平成12年度海外派遣報告が行われたが、内容的にレベルが高く、参加者である館長・部課長からは新鮮な知識が得られたという感想が多く寄せられた。(これらの報告は、後日「大学図書館研究」等で発表予定) なお、懇親会では国立大学を取り巻く環境の激変に関し、真剣な議論や情報交換があちこちでみられ、例年になく活発な談論となったのが特徴的であった。

講演会のお知らせ

(平成13年度近畿地区国公立大学図書館協議会第1回講演会)
「古文献資料解題」

講師 礪波 護(京都大学名誉教授)

演題 宮崎市定コレクション「西洋刊の地理書と古地図」

講師 森 洋久(国際日本文化研究センター 助教授)

演題 歴史地理情報基盤の構築について

日時:平成13年9月21日(金) 13:30~16:30

会場:京都大学附属図書館 AVホール(3階)

第10回京都図書館大会のお知らせ

「21世紀の図書館像を探る ~part II~」

21世紀に入りIT革命を背景に図書館を取り巻く環境は大きく様変わりしてきており、社会の変化は図書館活動のあらたな発展・展開をいっそう可能にしている。

記念すべき10回大会を迎え、今までの蓄積の上になつて図書館の館種を超えた幅広い関係者が相集い、21世紀の図書館の役割や方向性を探っていきたい。

1. 日時 平成13年9月12日(水) 10時受付 10時半~16時40分

2. 会場 京都府立図書館3階

3. 日程 特別報告 「21世紀の図書館像を探る」

報告 「ITと図書館」

報告 「総合学習と図書館」